科目ナンバリング	U-LAS00 10016 LJ34						
授業科目名 <英訳>	宗教学II Science of Religion II			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 竹内　綱史		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	哲学・思想(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・後期	曜時限	火2	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

本講義では、キリスト教の聖典である『聖書』を味読する。それを通じて、キリスト教およびその母体となったユダヤ教についての理解を深め、「宗教」というものの基礎理解を目指す。

聖書は世界中で最も多く読まれている本であり、永遠のベストセラーである。聖書を知らなければ、ユダヤ教、キリスト教といった「宗教」だけでなく、西洋のどんな文化的営みも真に知ることはできない。文学・思想・芸術などはもちろんのこと、慣用句や人名、暦やさまざまな習慣といった、西洋人の生活の隅々にまで聖書は浸透しているのである。

とはいえ、あの分厚い聖書を読むのはとても難しい。何の前知識もなく初めから読み始めても、すぐにわけが分からなくなるのがオチである。それゆえ、本講義では聖書に入門するための基礎知識を学習することにしたい。超有名箇所をピックアップして読み、その背景や影響を知れば、おのずと聖書の全体像がつかめるようになるだろう。

講義ではなによりもまず、聖書の本文をじっくり読むことに重点を置く。それぞれの語句に含まれている豊富な意味を受け取って、その人生観・世界観・神観を味わってもらいたい。また、聖書が書かれた当時の時代背景やその後の歴史に与えた影響などにも目を配り、異文化理解も深める。芸術作品などに表現された聖書も、適宜紹介することにしたい。

[到達目標]

1．聖書・ユダヤ教・キリスト教の基礎知識を身につけること。
2．「宗教」の基礎を理解すること。
3．異文化理解の難しさを体感すること。

[授業計画と内容]

聖書の中でも有名な箇所を選び、じっくり読み、解説する。毎回レジュメを用意し、それに従って進める。ときどき授業中にミニレポートを書いてもらい、できるかぎりそれも講義に反映する予定。

第1回　イントロダクション
第2回　「光あれ」（創世記1:3）――天地創造～バベルの塔まで
第3回　「神を畏れる者」（創世記22:12）――アブラハムの物語
第4回　「あなたには、わたしをおいてほかに神があってはならない」（出エジプト記20:3）――出エジプトとモーセの十戒
第5回　「サウルは千を討ち、ダビデは万を討った」（サムエル記上18:7）――ダビデの王国とソロモンの栄華
第6回　「敵は主の家で喚声をあげる　あたかも祭りの日のように」（哀歌2:7）――バビロン捕囚と預言者たち
第7回　「主は与え、主は奪う」（ヨブ記1:21）――ヨブの苦難
第8回　「おめでとう、恵まれた方」（ルカによる福音書1:28）――キリストの誕生
第9回　「誰かがあなたの右の頬を打つなら、左の頬をも向けなさい」（マタイによる福音書5:39）――山上の垂訓
第10回　「わたしの隣人とは誰ですか」（ルカによる福音書10:29）――善きサマリア人のたとえ

宗教学II(2)へ続く↓↓↓

話
　第11回　「今の時代の者たちには、決してしるしは与えられない」（マルコによる福音書8:12）――イエスの奇蹟
　第12回　「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」（マタイによる福音書27:46）――イエスの死と復活
　第13回　「生きているのは、もはやわたしではありません」（ガラテヤの信徒への手紙2:20）――ペトロとパウロ
　第14回　ユダヤ教とキリスト教、その後

フィードバックについては別途連絡する。

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

平常点（40点）と定期試験（60点）
平常点は、授業内容に関するミニレポートを数回に1回提出してもらい、それによって評価する。
定期試験は、聖書・ユダヤ教・キリスト教の基礎知識などを問うものと、授業内容に関するいくつかのテーマから一つ選んで論じてもらうことを予定している。

[教科書]

共訳聖書実行委員会編 『小型聖書 新共同訳』（日本聖書協会、1988年）ISBN:9784820212041
聖書は必ず各自用意すること（無料アプリもある）。何種類も翻訳があるので、どれでも構わないが、授業では「新共同訳」をメインで使う。

[参考書等]

（参考書）
赤司道雄 『聖書』（中公新書、1966年）ISBN:4121001052
阿刀田高 『旧約聖書を知っていますか』（新潮文庫、1994年）ISBN:4101255199
阿刀田高 『新約聖書を知っていますか』（新潮文庫、1996年）ISBN:4101255210
加藤隆 『一神教の誕生』（講談社現代新書、2002年）ISBN:4061496093
荒井献 『イエス・キリストの言葉』（岩波現代文庫、2009年）ISBN:4006002130
大貫隆 『聖書の読み方』（岩波新書、2010年）ISBN:4004312337
このほかにも授業中に適宜参考文献を挙げる。興味を持ったものには自分からどんどんあたってほしい。

（関連ＵＲＬ）

https://www.bible.com/ja(オンラインで読める聖書のサイト。アプリへのリンクもある。)

[授業外学修（予習・復習）等]

予習としては、毎回、次の講義箇所を指示するので、授業前に聖書の当該箇所を読んでおくこと。
授業後には、授業で読んだ聖書の箇所を読み直しておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

宗教学を学ぶとは、人類の叡智を学ぶことであると同時に、現代社会の最重要問題の一つに取り組むことでもある。心して受講してほしい。
ミニレポートの提出やお知らせ・教員とのやりとりはPandAを用いる。

宗教学II(3)へ続く↓↓↓

宗教学II(3)

[主要授業科目（学部・学科名）]